脱炭素まちづくりアドバイザー紹介

環境省

氏名	山口 勝洋	所属	紫波グリーンエネルギー エネ技地ンター
専門領域	地域エネルギーサービス事業 木質バイオマス 熱利用・熱電併給 バイオガス(メタン発酵) 市民出資、地域金融連携	居住地域／活動地域	岩手県／東北が主
キーワード	太陽光、PPA、木質バイオマス、温泉配湯、温泉熱　バイオガス（畜産）、バイオガス（生ごみ）、熱供給、省エネ、カーボンオフセット（Jクレジット等）、初期段階におけるビジョン・方向性の検討、ポテンシャル調査、区域施策編の策定、官民連携、住民や事業者との合意形成、事業計画・事業性評価、事業体制構築、地域新電力、エネルギー会社設立、資金調達	派遣形式	スポット型・伴走型

略歴	2004 おひさま進歩エネルギー(飯田市)設立、日本初の地域ESCo。省エネ・再エネ専業。以来、備前グリーンエネルギー、環境エネルギー普及(岩手)、CUCエネルギー(千葉商大)、おひさまコーポレーション(石巻)、気仙沼地域エネルギー開発など、ご縁・志で共鳴した地域に共同でエネサービス会社(ESCo)を設立し、長期に運用する事業を実現。紫波グリーンエネは2012～、木質での地域熱供給、老健施設への木質熱電併給など実施。それら以前はアーサーDリトル、アクセンチュアで技術・経営コンサルティング。米国在8年。シカゴ大学院 経営学修士、東京大学 工学部化学工学科卒。
過去の地方公共団体との関わり	2004、05に飯田市、備前市と企画協同し、環境省の「環境と経済のまちモデル事業」に採択、市と連携して事業の推進を民間側で担った。地域エネ会社の設立と事業の具体案件化、設計から機器工事の調達、金融・資金調達など事業実現の全面を実践。 それら事業の前段として、地域における省エネ・再エネの企画・調査・計画作りを実践(市町村から受託等)。木質では気仙沼市、紫波町、南阿蘇村他。バイオガスでは加美町、長島町、出水市、西之表市他。 紫波町での木質での地域熱供給は、町の地区開発事業と同期して、舗装前に温水管を埋設するなど、民間側から町と協同して実現。町役場を含む地区全体の脱炭素化。 飯田市・備前市・紫波町他の公共施設が省エネ・再エネサービスの顧客となる件多数、民間への先導事例。
一言	エネルギーを使う側、地域現場の側から、省エネや再エネ利用をしていきましょう。地域身の丈の小中規模案件に即した技術や金融を組み、地域ぐるみの力を合わせて複数～多数が進むプロジェクトを作りましょう。
参考URL	https://ohisama-energy.co.jp/about/origin/ https://www.bizen-greenenergy.co.jp/services/esco/ https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/activity/environment/scheme/index.html http://chiiki-energy.co.jp http://shiwa-green.co.jp